



2025年 5 月 8 日 第2607回例会
5 月第 1 例会

RI会長テーマ:The Magic of Rotary
「ロータリーのマジック」

本年度会長テーマ
「始めよう 誰かのために」

「青少年奉仕月間」

◆ 会長時間 ◆

前橋会長



米山奨学事業とは、日本のロータリー全地区による国際奉仕事業という位置づけになります。この事業の使命は日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することで

日本と世界との架け橋となって国際社会で活躍する人材を育成することにあります。そしてロータリーの理念と活動の理解者となることで世界平和に寄与していくことが望まれています。地区で選考され奨学生が決まると、地区内のクラブに対して受け入れの要請があります。受け入れるクラブは「世話クラブ」と呼ばれ、世話クラブの会員が「カウンセラー」となって日常の相談役をつとめます。奨学生は毎月一回以上、世話クラブの例会に出席し、会員との交流やロータリーの活動について学びます。米山記念奨学金には幾つか種類があって、支給される金額も異なります。募集方法も指定校推薦もあれば個人で応募できるものもあります。

グエン・タン・トゥエンさんの場合は大学に通っていますので学部課程という扱いになり月額10万円が支給されます。例えば、大学院に通っている場合は修士・博士課程の扱いとなり、月額14万円となります。一昨年度、当クラブが世話クラブとなっていたグエン・ティ・ミー・フェンさんは専修学校でしたが、短大、高専、専修学校に通う留学生に対しても奨学金制度は用意されています。

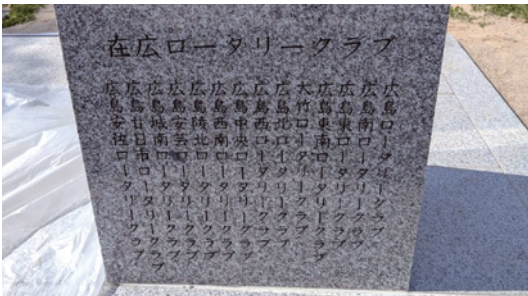
この奨学金制度は国内最大規模で2024年度の奨学生数は926名、累計奨学生数は24,133名で世界133の国と地域に及びます。2024年度の国籍、地域別人数は中国377名、ベトナム135名、韓国119名で、インドネシア42名、マレーシア28名、モンゴル、ネパール、台湾と続きます。

そして、ご存じのようにこの事業はロータリー会員の寄付が資金となって運営されています。寄付金収入はおおよそ14億、奨学金として支出されるのは12億、地区、世話クラブへの補助費を含めればおおよそ90%を占め、一般管理費は10%に満たないものとなっていますので、我々の寄付は有効に使われているものと考えられます。奨学生は、奨学期間終了後は米山学友となって学友同士、また米山奨学生との交流とともにロータリークラブと連携しながら地域貢献活動を行うことになります。学友の中には、後にロータリアンになったり、博士号の取得、外交官、各種企業で活躍されている方などが多くおられます。

なぜ外国人留学生を支援するのか。最初にこの事業の使命は「日本と世界の架け橋となる人材を育てていくことにある」と申し上げましたが、それは戦争を経験したロータリアンたちが、あの悲劇を二度と繰り返さぬためには、日本人だけでなく他国の優秀な青年の勉学を支援するとともにロータリーの理想を共有し、行動できる人材を日本から世界に輩出していくことが、国際平和の実現には必要であると考えたからに他なりません。未だ戦火が止まないこの時代だからこそ、その思いを再確認し引き継いでいかななくてはならないと考えます。

ロータリー120周年記念事業 (グループ6・7合同事業)

「毛利輝元像建立プロジェクト」が完遂され、除幕式が4月27日に行われました。場所は、城南通りと鯉城通りが交差する場所で、車道と広島城堀の間となります。当日は晴天に恵まれ、各クラブの会長と会長代理等が除幕式に参列しました。



2025学年度 米山奨学生の紹介



米山奨学生 グエン・タン・トゥエン さん
米山奨学生カウンセラー委嘱状伝達 熊本 裕子 君

会務報告 鈴木幹事

- ロータリーレートが1ドル142円（4月まで150円）に変更になりました。
- 例会終了後、4階「アマリリス」において5月定例理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

卓話予告

日時	テ マ
5/22(木)	青少年交換受入学生&インターアクト合同卓話 「日本での生活・活動について」 Silvia Marie BELL さん 「インターアクト活動報告」 修大協創インターアクト部 顧問 山下 明星 さん

委員会報告

プログラム・出席委員会

出席報告 大谷委員長

本 日（5月8日・木曜日）

会員数	91名	出席者	69名
欠席者	22名	ご来客	0名
ご来賓	1名	ゲスト	1名
		計	71名

4週前の例会2025年4月3日・木曜日

出席率 100%



- 会報雑誌・広報委員会 長谷川(剛)委員長
ロータリーの友誌紹介

青少年交換派遣学生 月例報告書 (4月分)

■八條 義公

●健康状態

風邪をひくことなく元気に生活できています。

●学校の状況

リスニングは前よりできるようになりました。スピーキングは日常会話やちょっとした会話はできますが、専門的な話になると言葉が出てこず混乱することが多いです。まだ全然話せないのにとあと3ヶ月しかないという状況に危機感を持っています。

●ホストファミリーとの関係

新しいホストファミリーはフィリピン人で同じアジア人だから少し発音などが似ていて聞き取りやすいですが、フィリピン語の訛りがあるので少し聞き取りにくいところもありますが、楽しく生活できています。2人ホストブラザーがいて、2人とも大学生で年齢が近いのでとても話しやすいです。家には2匹猫がいて最初アレルギーでくしゃみが出たりしていましたが、もう慣れてとても癒されています。

●ホストロータリークラブとの関係

ロータリアンの方で日本語でおはようと言ってくくださる方が何人かいて、とても嬉しいです。

●その他近況等の報告

日本がとても好きな友達がいる、日本語で「ちょっと待って」や「落ち着け」など言っ

きます。ラグビーのチームメイトでもあるのでより仲良くなりました。25、26、27日にラグビーのトーナメントが隣の州でありました。結果は1勝2敗でよくありませんでしたが、チームの団結力をすごく感じトライした時はみんな抱き合ったりし、初めて勝った時は嬉し泣きするほど感動して短期間でチームを作って一からやるからこそ感じれることだなと思いました。また、ホテルに泊まってパーティーをしたりしたのでより仲が深まりました。



● 同好会報告

 **紫友会** 北村世話人

紫友会第10例会は、4月29日(火)快晴の広島カントリー倶楽部 西条コースにて、広島14RC合同懇親ゴルフ大会と同時開催されました。当日は、162名の在広ロータリアンが集う中、12名の紫友会メンバーに木村君を加えて他クラブとの懇親を深めました。

例会優勝は、OUT42 IN45 グロス87 HD15.3 ネット71.7で小橋君がシニア優勝とともに獲得されました。準優勝は、OUT38 IN40 グロス78 HD2.7 ネット75.3で田原君がベスグロとともに獲得されました。3位は村上(健)君、BB賞は北村君でした。

また、ダブルペリア方式での競技となった広島14RC合同懇親ゴルフ大会では、吉田(大)君、柳原君、田原君、宍戸君、金本君の活躍で団体3位に入賞することができました。団体戦3位の成果が華を添え、楽しい懇親会となりました。

次回例会は、5月15日(木)～17日(土)にかけて高知方面への遠征旅行例会を企画しております。安全第一で例会運営いたしますので、報告を楽しみにお待ちしております。

● 会員記念日

 **祝 5月お誕生日おめでとうございます。**

(8名)

部谷君	宍戸君	児玉君
村上(健)君	新沢君	津村君
土井(隆)君	下岡君	



● スマイルボックス

SAA 上野(彰)委員長



 **次年度 米山奨学委員会 熊本君、安原君、大植君 (自主申告)**

2025年4月より一年間、米山奨学生 グエンタン トゥエンさんを迎えることとなりました。

カウンセラーという未経験のお役目で、勉強することも多く戸惑いもありますが、グエンさんに有意義な一年を過ごしていただけるよう、3人でしっかりとサポートをしてみたいです。皆さま、ご指導・ご鞭撻の程よろしく願い申し上げます。

 **紫友会 4月例会および、14RC合同懇親ゴルフ大会の優秀賞の方々**

紫友会の部で優勝されました小橋君はシニア優勝と併せてトリプルで、準優勝およびベスグロ賞の田原君は併せてダブル、3位の村上(健)君、ブービー賞の北村君も出宝お願いいたします。

14RCクラブ対抗戦で、わが広島西RCは3位入賞を果たしました。選ばれた5人の方々もスマイルボックスにご招待いたします。

吉田(大)君、柳原君、田原君、宍戸君、金本君、ご出宝お願いいたします。

皆様、おめでとうございます。

● スマンボックス

田島君

2週間前の例会でスマイルを担当しましたが、カツゼツが悪く何度もつまずいてしまいました。また、原君の会社「株式会社やしき」が、今年で創業85年と申しましたが、今年5月で創業88年の間違いでした。誠に申し訳ありませんでした。

反省の意味を込めて、スマンボックスにダブルで出宝します。

田原君

不肖ながら私も結婚25周年を迎えることとなり、クラブより写真撮影のご案内をいただき撮影に行かせていただきました。当日は娘2人も広島に居たため、追加で10数年ぶりの家族写真まで撮ることができて良い記念になりました。ありがとうございます。

と、これで終わればスマイルなのですが、あろうことか結婚記念日を1年と7日ほど間違っておりまして、妻からは呆れられるわ、事務局にはご迷惑をお掛けするやらで大変反省しております。1年前倒しで撮影させていただきましたので1年間はロータリーに積極的に参加することと、妻と仲良く過ごすことを誓いましてご容赦いただきたいと思います。

大変申し訳ございませんでした。



■ 卓 話



整形外科とスポーツ医学

広島大学大学院医系科学研究科 整形外科教授
広島大学病院 病院長

安達 伸生氏

「運動器」とは身体を動かすために必要となる骨、関節、靱帯、筋肉、神経などの総称です。これらの運動器が連携して働くことで身体が動いているため、このうち一つが悪いとスムーズに動くことができなくなります。「整形外科」は運動器の疾患を取り扱い、その運動器の病態の解明や新しい治療法の開発を目指す学問です。整形外科が扱う範囲は広く、骨折・外傷外科、脊椎・脊髄外科、肩・肘の外科、手の外科、股関節外科、膝関節外科、足の外科、骨・軟部腫瘍外科、骨代謝・骨粗しょう症、運動器リハビリテーション、スポーツ整形外科など多くのsubspecialtyがあります。

スポーツ傷害は大きく「スポーツ障害」と「スポーツ外傷」に分かれます。スポーツ障害は頻回に繰り返される力による損傷のことで、いわゆるoveruse症候群、使い過ぎ症候群です。一方、スポーツ外傷は瞬間的な大きな力による損傷です。使い過ぎによるスポーツ障害では、野球肩、野球肘、ジャンパー膝、アキレス腱炎などが含まれ、スポーツ外傷では骨折や脱臼、靱帯損傷、肉離れなどが含まれます。中高生の部活中における外傷では、発生件数としてはバスケットボールやサッカー、野球での件数が多く、発生率としてはラグビーや柔道が上位となります。

本発表では広島大学整形外科が取り組んでいるスポーツ傷害の診断・治療について、プロスポーツ選手の治療例を挙げながら解説します。

広島西RC

検索

例会日・木曜日 12:30~13:30

例会場・ANAクラウンプラザホテル広島

会 長 前橋 寛

幹 事 鈴木 義尚

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78

リーガロイヤルホテル広島13F

TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870

E-mail: hwrc@godorc.gr.jp

作 成・会報雑誌・広報委員会